

# 大船渡水産振興センター「未来板」

令和3年6月18日発行 第1号

## 1 漁港関係施設の災害復旧工事進捗状況

令和3年3月31日現在の管内県営漁港関係施設災害復旧工事の進捗率は、90%となっています。

	災害査定 (R1再調査決定額)		発注		進捗状況		完成
	件数	本工事費 (千円)	件数	発注額 (千円)	出来高 (千円)	率 (%)	件数
漁港	242	33,037,441	240	32,758,179	32,652,106	99	236
漁港海岸	11	33,784,333	11	30,019,154	27,537,014	82	9
漁場	2	498,880	2	498,880	498,880	100	2
合計	255	67,320,654	253	63,276,213	60,688,000	90	247

## 2 水産施設等の復旧状況

### 共同利用施設等の整備状況

漁協や各漁業者、水産加工業者などが共同で利用する施設の整備を支援しています。

令和3年度に陸前高田市で漁船上架施設1件の整備が予定されてされており、完成すれば管内の共同利用施設の復旧は全て完了します。

## 3 魚市場の水揚げ状況

### 4月の大船渡市魚市場の水揚げ状況（水揚げ上位3種比較）

	令和3年		令和2年		前年比 (R3/R2)	
	数量 (トン)	金額 (千円)	数量 (トン)	金額 (千円)	数量 (%)	金額 (%)
マイワシ	194.3	8,101.8	53.7	2,301.9	361	352
サバ類	51.3	4,422.4	71.7	6,803.9	72	65
タラ類	61.6	8,209.5	28.1	5,973.7	219	137
水揚げ全種合計	400.4	66,156.5	238.1	46,760.0	168	141

出典 岩手県水産情報配信システム

### ～4月のおさかな紹介 『サバ』について～

気仙管内では、「マサバ」と「ゴマサバ」の2種類が水揚げされます。特に、本県沿岸に餌を求めて夏から秋にかけて来遊するマサバは、これからどんどん脂がのる季節です。缶詰など加工品の材料になるほか、ご家庭でもみそ煮や竜田揚げ、しめさばなどで親しまれています。季節ごとの変化を味覚でお楽しみください。





## ～さけの子さっちゃんの気仙NEWS～

### NEWS ① 栽培協会産アワビ種苗の初出荷が行われました



出荷するアワビ種苗

大船渡市末崎町門之浜にある（一社）岩手県栽培漁業協会では、アワビ種苗を生産しており、県内を中心に出荷しています。

5月7日（金）は、船越湾漁業協同組合と三陸やまだ漁業協同組合への初出荷が行われました。今年は9月頃までに県内17の漁業協同組合へ281万個が出荷される予定です。

近年、餌となる海藻不足等によりアワビは減少傾向にあります。種苗放流等の取組みを行うことで資源の回復を図っていきます。



発砲箱へ入れた稚貝をトラックへ積み込み

### NEWS ② 吉浜小学校でワカメ芯抜き体験が行われました

大船渡市三陸町の吉浜小学校では、5月10日（月）に岩手県漁業士会大船渡支部によるワカメ芯抜き体験が行われました。

吉浜湾で養殖された塩蔵ワカメを使い、青年漁業士である佐藤宏紀氏の指導のもと、3、4年生12名が中芯（茎）と葉に分ける作業をしました。

芯抜き作業は繊細な力加減が必要ですが、児童達は徐々にコツをつかんでいき、上手に作業していました。また、漁業を営む家庭の児童もおり、慣れた手つきで芯を抜いていました。芯抜きワカメは児童が家庭に持ち帰り、美味しく味わいました。

今年度、同校ではワカメ芯抜き体験やホタテ養殖体験等を通じて、地元の産業への理解を深めていきます。



「さけの子さっちゃん」は、大船渡水産振興センターのPRキャラクターです！



『未来板』に関するお問い合わせ先  
沿岸広域振興局水産部  
大船渡水産振興センター〔担当 玉山〕  
岩手県大船渡市猪川町字前田6-1合同庁舎4階  
TEL:0192-27-9915 FAX:0192-21-1229  
E-mail:BG0004@pref.iwate.jp